

令和6年度 大草小学校 学校評価集約版

令和7年1月27日

本表は、次のような基準で評価してもらった結果を集約したものです。

【4 よくあてはまる 3 ややあてはまる 2 あまりあてはまらない 1 あてはまらない】

	評価内容	評価平均			
		保護者	児童	教職員	平均
めざす子ども像	お 大きな憧れを抱く大草っ子 子どもたち（自分）は目標に向かって何事にも前向きに取り組もうとしている。	3.6	3.5	3.1	3.4
	お 思いやりの心を持つ子（思いやり） 子どもたち（自分）に優しい思いやりの心が育っている。	3.3	3.3	3.5	3.4
	く 工夫して学び続ける子（自信） 子どもたち（自分）は、学力向上に向け、日々の学習に主体的に取り組んでいる。	3.3	3.4	3.0	3.2
	さ 最後までやり抜くたくましい子（挑戦） 子どもたち（自分）にしんぼう強くやり抜こうとするたくましい心と体が育っている。	3.2	3.6	3.0	3.3
重点事項	1 心の教育の推進 （学校・先生・私たち）は、子どもたちに思いやりや責任感などの豊かな心を育てようとしている。	3.4	3.6	3.8	3.6
	2 学力向上と授業改善 （学校・先生・私たち）は、複式授業の充実や、少人数のよさを生かしたきめ細かな指導で、学力 向上に努めている。	3.6	3.6	3.6	3.6
	3 健康・体力の増進と安全で美しい環境づくり （学校・先生・私たち）は、保健安全教育や食育、体力増進と美しい学校環境づくりに努めている。	3.6	3.7	4.0	3.8
	4 体験活動の充実 （学校・先生・私たち）は、愛校心、郷土愛、望ましい仲間意識などを育てるため、積極的に体験 活動を推進している。	3.7	3.6	4.0	3.8
	5 言語活動の充実や表現力の向上 （学校・先生・私たち）は読書の量や質の向上に努め、子どもの語彙力を伸ばしたり、発表機会を 意図的に設定したりして、自己表現力の育成及び向上に努めている。	3.5	3.6	3.3	3.5
	6 生徒指導の充実 （学校・先生・私たち）は、子どもたちの規範意識を高め、基本的な生活習慣、集団の規律を身につけさせる指導とともに、家庭と連携した生徒指導を進めている。	3.2	3.5	3.2	3.3
	7 地域とともにある学校づくりの推進 （学校・先生・私たち）は、家庭・地域と積極的に連携したり、HP・学校・学級便り等で、情報を発信したりして、開かれた学校づくりに努めている。	3.6	3.7	4.0	3.7

コメントから

- ・チャレンジウォークや大草塾での米の販売、参加型の授業参観などの行事や授業があり、地域の方も含め楽しく充実した学校生活を過ごせた
- ・安心メールでは、学校の情報を知る事ができ助かる
- ・先生方の子ども1人1人に対する声掛け、関わり、まなざしに子ども達も反応している姿が素晴らしい
- ・行事の日程変更は早めに知らせてほしい→次年度も稲刈りなどは天気次第ですが、できるだけ早くします！
- ・昼休みカットは子どもにとって寂しい？→地域の中で遊ぶ喜びも知ってほしいですね。

コメントありがとうございます！

考察 昨年度の学校評価の際、今後の手立てとして挙げていたことから振り返ります。

- ① 新聞やケーブルテレビを活用して、大草の良さをアピールします。
- ② 新しく生まれ変わったホームページの更新頻度を上げていきます。
- ③ 喜々津小学校区へのアピールを増やしていきます。

- ① 多くのメディアを活用して大草小のことをアピールすることができました。その反響は大きなものでした。代表的なものに、本校卒業生百合野病院創設者の江崎辰男様からのお手紙や御芳志があります。こうした「つながり」を大事にしながら大草小応援団を増やしていきたいと思えます。
- ② 学校だよりの発行とともに更新してきました。市内で様式が統一されたことや、あまり写真などを載せることができない昨今の状況から、必要最低限の更新に留めました。今後も同様にしていきます。
- ③ 就学時健康診断で隣接小規模特認校制のチラシを配布しました。保護者の中には、このチラシを何枚か預かり、知り合いに配ってくださった方もおられます。大変有難いことです。御協力ありがとうございました。

また、昨年度課題だった「工夫して学び続ける子」に関して、家庭学習の工夫に力を入れてきました。

- ④ 自学コンテストの実施。
- ⑤ HP や学校だよりで紹介。
- ⑥ ○○さんからの挑戦状。→先生はもちろん、子どもたちが作った課題を出し合う。

- ④ ⑤ 校内に優れた取組を掲示しました。学級だよりで一部紹介しました。
- ⑥ 上級生が作った問題に、下級生が取り組むという場面がありました。自学の内容を基に、校内クイズウォークラリーを全学年で実施しました。

1月から1、2年生も縦割り自学に挑戦することにしました。無理な時は「パス」してもいいようにしてあります。上級生の学習を見てそのよさを取り入れたり、逆に下級生の頑張りに刺激を受けたり…。今後とも無理なく楽しく学習して、「工夫して学び続ける子」に育ててほしいと思えます。

成果として、この項目における保護者の皆様の評価が「3」から「3.3」に上がっております。家庭学習への御協力ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。教師の評価も上がるように授業改善を継続していきます。

全体的に見て平均では、どの項目も3以上の評価割合が高いのですが、個人内では低い評価があったことも事実です。真摯に受け止めながら、今後の教育活動に生かしていきたいと思えます。次年度に向けてまとめます。

次年度へ向けて

今年度の最高評価項目は「体験活動の充実」でした。これは地域・保護者の皆さんの御協力の賜物だといえます。今後とも引き続き、御協力よろしく願いいたします。

「工夫して学び続ける子」は継続課題として上記取組を維持します。また、「最後までやり抜くたくましい子（挑戦）」の評価も相対的に低い状況が続いています。重点的に強化が必要だと判断します。

- 日々の授業や行事において、最後までやり抜こうとしている過程や姿を肯定的に評価していく（教師）
- 日々の授業や行事の振り返り活動を強化する→振り返りの共有、お互いに評価し合う（児童）
- 授業参観・学校行事で我が子はもちろん、大草小児童を広い視野で見つめ、最後までやり抜こうとしている過程や姿を肯定的に評価していく（保護者の皆様）